

157.ビールメーカー4社のRORO船モデルシフト

令和元年7月30日 認定
(変更認定: 令和2年1月8日)

実施主体

澁澤倉庫(株)、大王海運(株)

事業内容

ビールメーカー4社が関東⇒関西間を各々陸上輸送していたが、各社とも大型シャーシを使って、RORO船による海上モーダルシフトを実施し、効率化を図る。

転換前

アサヒビール関東物流拠点

麒麟ビール関東物流拠点

サッポロビール関東物流拠点

サントリー関東物流拠点

アサヒビール関西物流拠点

麒麟ビール関西物流拠点

サッポロビール関西物流拠点

サントリー関西物流拠点



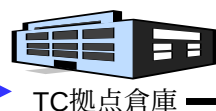
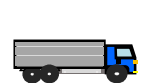
転換後

アサヒビール関東物流拠点

麒麟ビール関東物流拠点

サッポロビール関東物流拠点

サントリー関東物流拠点



千葉港

大王海運 RORO船

約696km

堺泉北港

アサヒビール関西物流拠点

麒麟ビール関西物流拠点

サッポロビール関西物流拠点

サントリー関西物流拠点



特徴

メーカー4社の工場等から直接大型シャーシで、あるいは集約拠点で大型シャーシに積替え、RORO船を使ったモーダルシフトを実施。

効果

- ・CO₂排出削減量: 1,648.7t (59.3%)
- ・ドライバー運転時間省力化: 3,793時間 (77.5%)

160. 合成樹脂と飼料添加物の鉄道モーダルシフト

令和元年7月31日 認定

実施主体

山九(株)、(株)サンキュウ・トランスポート・東日本、三菱エンジニアリングプラスチックス(株)、日本ニュートリション(株)、日本貨物鉄道(株)

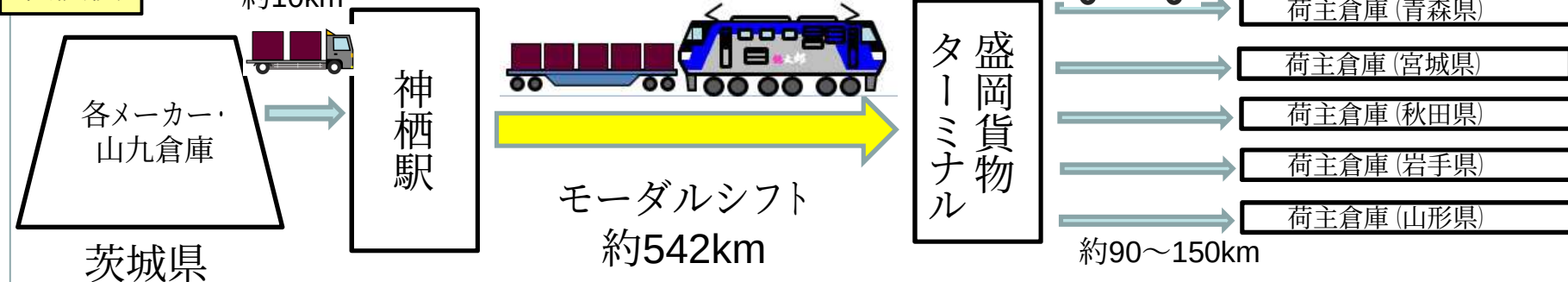
事業内容

メーカー2社の貨物を茨城県から東北5県に陸上輸送していたが、鉄道モーダルシフトを実施し、効率化を図る。

転換前



転換後



特徴

- ・メーカー2社の共同配送。
- ・効率化を念頭に物流網の見直しを行い、鉄道モーダルシフト。

効果

- ・CO₂排出削減量:603.3t(74.7%)
- ・ドライバー運転時間省力化:57,881時間(79.5%)

161.製紙用原料の鉄道モーダルシフト

令和元年7月31日 認定
(変更認定: 令和2年1月29日)

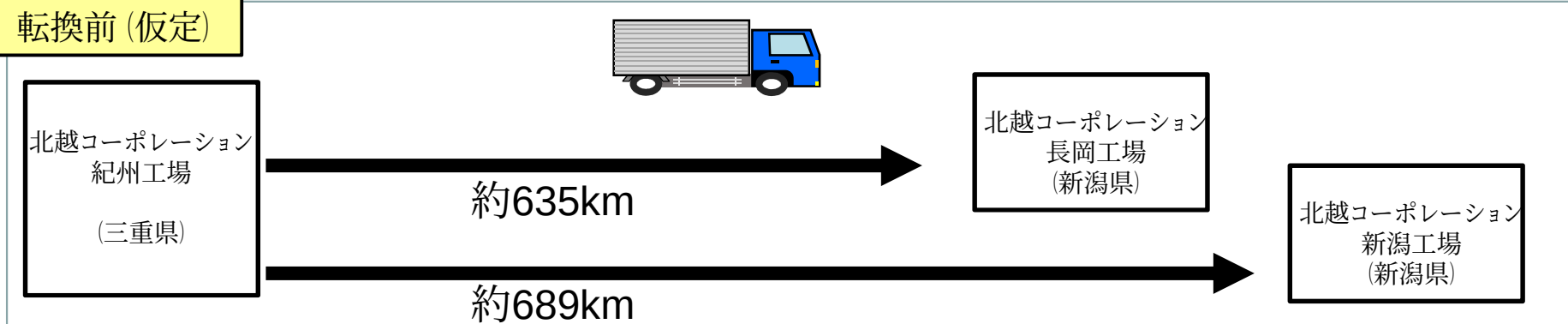
実施主体

北越コーポレーション(株)、北越物流(株)、
日本紙運輸倉庫(株)、センコー(株)

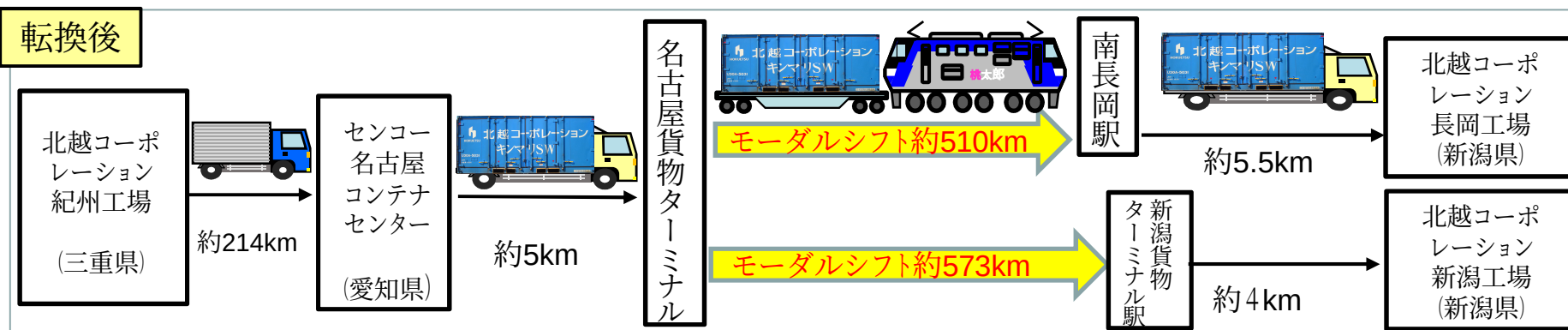
事業内容

三重県⇒新潟県で製紙用原料を陸送していたが、鉄道モーダルシフトし、効率化を図る。

転換前(仮定)



転換後



特徴

- ・鉄道モーダルシフトによる効率化。
- ・帰り荷の確保。

効果

- ・CO₂排出削減量: 177.1t (44.6%)
- ・ドライバー運転時間省力化: 3,145.2時間 (59.6%)

163. 合成樹脂の内航コンテナ船モーダルシフト

令和元年8月1日 認定

実施主体

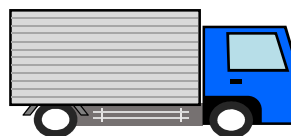
山九 (株)、三井化学 (株)

事業内容

千葉県⇒広島向けに合成樹脂を陸送していたが、段積みラックと幅広コンテナを用い積載率を向上、内航コンテナ船モーダルシフトを行い、効率化を図る。

転換前

山九
袖ヶ浦倉庫
(千葉県)



山九
広島市倉庫
(広島県)

約940km

転換後

山九
袖ヶ浦倉庫
(千葉県)



約30km

千葉
コンテナ
ヤード
(千葉県)



山九
内航コンテナ船

約885km

岩国
コンテナ
ヤード
(山口県)



約50km

山九
広島市倉庫
(広島県)

特徴

- ・段積みラックと幅広コンテナを用い積載率を向上。
- ・内航コンテナ船にモーダルシフト。

効果

- ・ CO₂排出削減量: 126.2t (59.0%)
- ・ ドライバー運転時間省力化: 3,850時間 (85.6%)

165. 農産品・冷凍食品複数箇所での鉄道モーダルシフト

令和元年8月8日認定

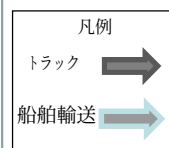
実施主体

(株)ラルズ、(株)シジシージャパン、(株)フレスタ、日本貨物鉄道(株)、全国通運(株)

事業内容

全国の出荷場所からトラック一貫又は船舶で、冷凍食品や農産品を輸送しているが、鉄道コンテナ複合輸送を行うことにより、環境負荷の低減と省力化を図る。

転換前(仮定)



北海道、東京都、
長野県、静岡県、
熊本県、福岡県

最寄りの
港

最寄りの
港

北海道、
埼玉県、
広島県

転換後

北海道、東京都、
長野県、静岡県、
熊本県、福岡県

最寄り
貨物駅

最寄り
貨物駅

北海道、
埼玉県、
広島県

特徴

・複数箇所での、最寄り駅からの鉄道貨物輸送。

効果

- ・ CO₂排出削減量: 35.8t (65.1%)
- ・ ドライバー運転時間省力化: 714.7時間 (85.8%)

166. ミネラルウォーターとパレットの鉄道モーダルシフト

令和元年8月8日 認定

実施主体

全国通運 (株)、佐川急便 (株)、富士山の銘水 (株)

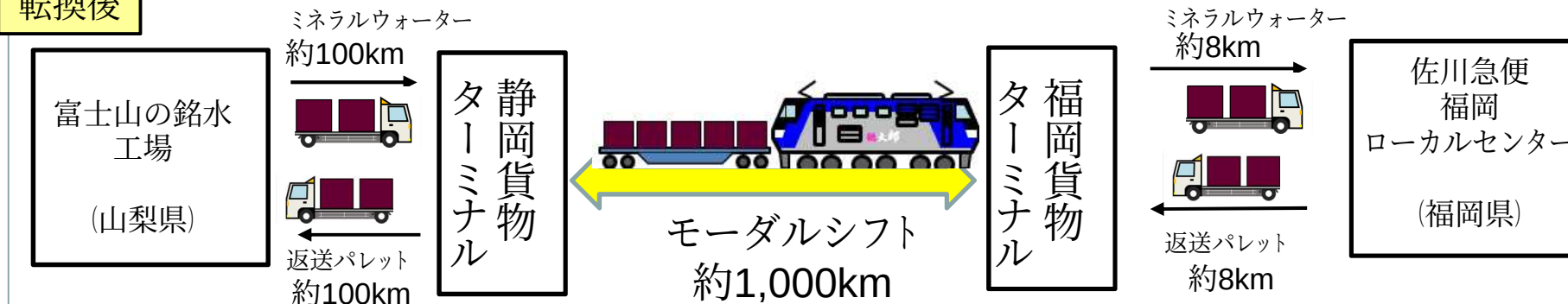
事業内容

山梨県⇒福岡県までミネラルウォーターを陸送していたが、帰りの返送パレットと共に往復鉄道モーダルシフトし、効率化を図る。

転換前



転換後



特徴

・往復鉄道モーダルシフトによる効率化。

効果

- ・ CO₂排出削減量: 195.6t (69.0%)
- ・ ドライバー運転時間省力化: 4,211時間 (88.0%)